

サンゴから生まれた壁

Coral Style

コーラルスタイル

サンゴから生まれた壁

Coral Style

本製品の主原料である石灰石は、もとを辿ると遥か昔、まだ日本が海だったころに生息していたサンゴなどの海棲生物に由来しています。太古の海からの贈り物を現代に活かすことを目的とし、日本最大のサンゴ礁を有する沖縄より着想を得た〈コーラルスタイル〉。美しさと確かな安心をご提案します。



〈コーラルスタイル〉の主原料は、サンゴを起源とする高白色で粒径の整った石灰石と消石灰です。100%天然の素材でつくられており、やわらかな質感と清潔感が特徴の白亜の壁材です。



美しいサンゴ礁が広がることで知られる沖縄諸島。島の成因にもこのサンゴ礁がとても深く関係していることが知られています。また、古より交易の要所として栄え、多彩な文化の織り成す沖縄の豊かな風土は、私たちに安らぎを与えてくれます。



調湿効果

サンゴの表面がポーラス状であるのと同様、〈コーラルスタイル〉の表面には無数の孔が開いています。この孔が多湿時に水分を吸収し、湿度の調整をしてくれます。



抗菌性

主原料である消石灰は強アルカリ性です。カビや雑菌の発生を防ぐ作用があり、清潔な室内環境を保ちます。



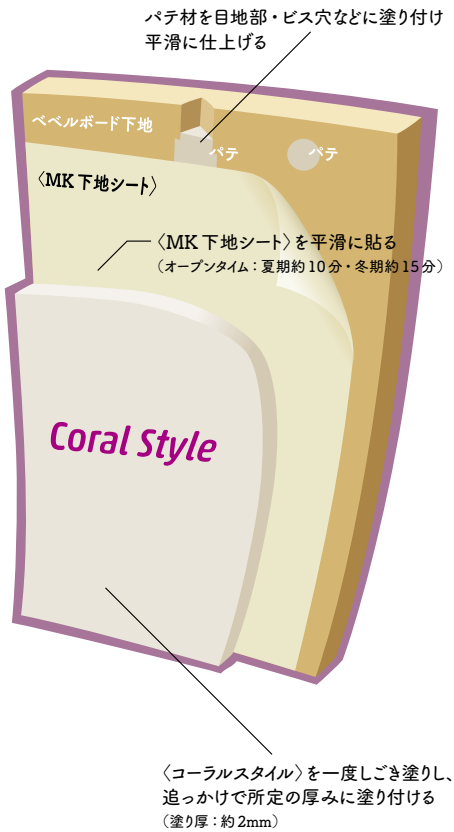
防火性能

〈コーラルスタイル〉の主成分は無機物のため火気に強く、高い防火性能を有し、燃えることはありません。

施工要領

ベベルボード(石膏ボード)下地

〔シート下地材使用の場合〕



〔塗り下地材使用の場合〕



コンクリート・セメントモルタル下地

〔塗り下地材使用の場合〕



練り方

1

容器に標準加水量の
80%程度の水を入れる

2

〈コーラルスタイル〉1袋を入れ
ダマがなくなるまでよく練り合わせたら、
塗り作業に適した柔らかさまで
残りの水を入れて練り上げる

〈MK下地シート〉、〈MK目地材〉、〈MKプラスター〉、〈フジプライマー F45〉の使用
方法の詳細は、各カタログをご確認いただ
か、弊社までお問い合わせください。

〈標準仕様〉

正味重量	25kg/袋
標準加水量	8～9リットル
標準施工面積	約9m ²
標準塗り厚	約2mm

〈注意事項〉

〔はじめに〕

- 施工中および翌日朝の気温が5℃以下の場合、または悪天候(降雨、降雪等)の恐れがある場合は施工を中止してください。
- 石膏ボード(木造下地)の施工は、JASS15左官工事3.9に規定された施工方法に準じてください。
- 下地材の継ぎ目には、必ず受け木(支持材)があることを確認してください。
- GL工法は、ボードジョイント部に亀裂が入る可能性があるのを避けてください。

〔養生の注意〕

- 赤身の木材はアクが発生しやすいので、マスキングテープなどで養生し

てください。

- 強風や直射日光などによる急激な乾燥を防ぐため、シート養生をお願いします。

〔施工、施工後の注意〕

- 石膏ボードへ〈コーラルスタイル〉を直接施工すると剥離する可能性があります。直接施工は避けてください。
- 直接雨が掛かったり、常に湿潤状態が続く場所へ〈コーラルスタイル〉を施工すると、汚れやカビが発生する可能性があります。
- 下地の吸水が激しい場合は水しめしを行ってください。
- 施工後は通風に配慮し、自然乾燥を行ってください。
- 硬化乾燥までに時間が掛かるので、屋根の軒やひさが十分でない場合は雨養生を行ってください。
- 施工中に採暖のため石油ストーブを使用すると、施工面が黄変する可能性があります。
- 空袋の処理は、産業廃棄物業者に依頼してください。残さ、残液は、下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないでください。
- 取扱いの際は適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・マスク等)を着用してください。



〈応急処置〉

- 目に入った場合……直ちに清浄な流水で20分以上洗浄し、速やかに専門医の治療を受けてください。
- 飲み込んだ場合……直ちに清浄な水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……直ちに清浄な流水で十分に洗い流してください。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。

〈保管の際のお願い〉

- 製品の保管は、雨露のかからない湿気の少ない場所に、床から離して保管してください。



創業安政元年
村桧石灰工業株式会社

〈特約代理店〉

〈建材事業部〉

〒327-0509 栃木県佐野市宮下町1-10
tel 0283-86-3677 fax 0283-86-4118
kenzai@murakashi.co.jp
https://www.murakashi.co.jp

村桧しっくい
channel

